

「土研新技術ショーケース2022 in 東京」にて開発技術を講演

寒地技術推進室

土研新技術ショーケースは、土木研究所の研究成果の普及促進を目的として、研究成果を社会資本の整備や管理に携わる幅広い技術者に講演とパネルや模型展示で紹介するとともに、現場適用に向けて技術相談に応じるものです。今回は東京都千代田区で開催した「土研新技術ショーケース2022 in 東京」および同会場で開催された建設技術の活用促進に関する「新技術展示会」について報告します。

1. 概要

2022年9月27日に「土研新技術ショーケース2022 in 東京」(会場：一橋講堂)を開催し、国や地方公共団体、コンサルタント、建設業に携わる技術者など155名にご来場いただくとともに、WEBにてライブ配信を行い343名の方にご視聴いただきました。

2. 講演および展示・技術相談コーナー

講演では、「建設新技術の最前線」と題し、国土交通省大臣官房技術審議官 佐藤寿延氏にご講演をいただきました。特別講演では「デジタル技術を活用した土砂災害の緊急対応の迅速化・効率化～バーチャルからリアルへの効果的なフィードバックを目指して～」と題し、土木研究所土砂管理研究グループ上席研究員 杉本宏之より講演を行いました。また、土木研究所で研究開発した10技術を道路、河川技術や景観技術等のカテゴリーに分類し、技術の特徴や適用の効果などについて講演を行っており、寒地土木研究所からは2技術を紹介しました(表-1、写真-1)。

表-1 寒地土木研究所の講演技術

景観検討にどう取り組むか～景観予測・評価の手順と手法～ 地域景観チーム 上席研究員 福島 宏文
交通安全診断支援ツール 寒地交通チーム 主任研究員 四辻 裕文



写真-1 講演および展示・技術相談コーナーの様子
(左：福島上席研究員 右：四辻主任研究員)

展示・技術相談コーナーにおいては、講演技術や研究内容について動画やパネル、模型をもとに来場者の方へ説明するとともに技術相談に応じました。

3. 併催された「新技術展示会」での発表

土研新技術ショーケースと同会場にて、新しい建設技術の活用促進に寄与することを目的として「2022年度 建設技術審査証明 新技術展示会」(主催：建設技術審査証明協議会)が併催されました。民間企業等から22技術の出展やプレゼン発表があり、寒地土木研究所からは「自然・田園域において無電柱化を進めるために」と題して地域景観チーム福島上席研究員が発表を行いました(写真-2)。



写真-2 プレゼン発表の様子
(福島上席研究員)

4. おわりに

「土研新技術ショーケース2022 in 東京」の開催にあたり、多くの方にご協力頂きました。この誌上をもちまして感謝申し上げます。なお、今後も寒地土木研究所では、土研新技術ショーケースをはじめ各種のイベント¹⁾を予定しております。

1) 寒地土木研究所イベント情報

<https://chouseikan.ceri.go.jp/web/event/>

(文責：高田 哲哉)

